

## 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の理事長となるべき者の選任理由

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構（以下、機構という。）は、日本郵政公社から承継した郵便貯金及び簡易生命保険を適正かつ確実に管理し、これらに係る債務を確実に履行し、もって郵政民営化に資することを目的とする法人である。

機構にあつて、理事長のポストには、そのミッションとして、本法人の基本的な運営方針を立案し、総務大臣の定める中期目標及びその達成のための中期計画に基づき、法人全体の運営管理業務を総理することが求められる。

浦野 道郎氏は、長年に渡る大和証券株式会社における勤務経験により、金融について精通しているとともに、大和ペンション・コンサルティング株式会社代表取締役社長、大和証券エスエムビーシー株式会社金融・公共担当役員付部長及び大和プロパティ株式会社常勤監査役兼大和インベスター・リレーションズ株式会社監査役といった民間企業の経営等におけるリーダーシップを発揮した経験を有している。また、平成 23 年より機構における理事長として、法人全体の運営管理業務を着実に実行した他、独立行政法人制度に理解があり、独立行政法人における組織のガバナンスについても十分に経験していることから、機構の理事長として最適の人物であると考え、引き続き、理事長となるべき者として選任したところである。